

# 病診

# 連

# 携

公益社団法人日本海員掖済会  
名古屋掖済会病院

# NEWS

## 2023.4

### 医療連携室

052-652-7954

## 病院長就任のご挨拶

このたびは本年4月1日をもって  
院長に就任致しました。

初代の太田元次院長から代々引  
き継がれた伝統をしっかりと継承し、  
病院のさらなる発展のために全力  
を尽くす所存です。

就任にあたり、簡単に自己紹介  
を述べます。

昭和58年に名古屋大学医学部を  
卒業し初期研修後平成8年に名古屋  
掖済会病院に赴任するまでひた  
すら外科医として研鑽をつみまし  
た。当院に勤務して救急の分野に  
惹かれるようになり、平成11年か  
らは救急科を兼務、平成15年に救  
命救急センター長を拝命しました。  
平成23年の東日本大震災でのDM  
AT派遣からは災害医療にも従事  
し、その後は活気あふれる救急医  
やスタッフたちと「救急の最後の  
砦」を守ってきました。

当院は昭和23年にこの地で診療  
を開始し、今年で病院創立75周年



になります。また救命救急センター  
は昭和53年の開設で、開設45周年の  
節目を迎えます。昨年3月〜4月に  
実施した病院救急車のクラウドファ  
ンディングでは目標を超える寄付を  
いただき、当院の救急医療を中心と  
した地域医療への期待の大きさをひ  
しひしと感じました。地域の中核病  
院としてこれからも職員一同頑張り

たいと思っています。今後とも暖  
かいご支援ご協力をよろしくお願  
いいたします。

院長

北川 喜己



## 院長退任のご挨拶

私、2023年3月31日をもって公益社団法人日本海員掖済会名古屋掖済会病院の院長を退任しました。2017年3月に第5代の病院長に就任して6年間病院長として任務に当りましたが、病院職員や連携機関など多くの方々の支えにより任務を全うすることができ改めてお礼を申し上げます。

院長就任後、掖済会病院をこの地域の基幹病院としての機能を高めるため、ロボット支援手術、脊椎脊髓センター開設、ハイブリッドERの造設、ドクターカー導入など高度医療に対応できるようにしました。また患者や職員満足度の向上のため、入退院支援センターの設置、コンシェルジュ検診の開始、病児保育所の設置などを実現できました。一方、2020年2月より

始まった新型コロナウイルス感染症という逆風も受けました。院内感染対策の樹立、病棟の面会制限、クラスター発生による病棟使用制限、院内行事の制限や中止など、患者や職員への行動制限をかけました。しかし、コロナと通常医療を両立するという基本方針のもと休むこと無く医療提供を続けることができ、地域の皆様からより信頼される病院として認識していただいたと自負しています。

今年の4月1日からは北川喜己が第6代の院長として就任しました。名古屋掖済会病院は今年大事な節目を迎えます。秋には創立75周年を迎え、また2030年完成を目標として新外来棟設計画が具体化してきます。今後患者や連携医療機関か

ら更に信頼される基幹病院となるよう職員一同励んでまいります。

名誉院長

河野 弘



### 診療科名変更

4月1日より、膠原病内科は膠原病リウマチ内科に名称変更となりました。



### 病院ホームページが新しくなりました

<https://www.nagoya-ekisaikaihosp.jp/>

